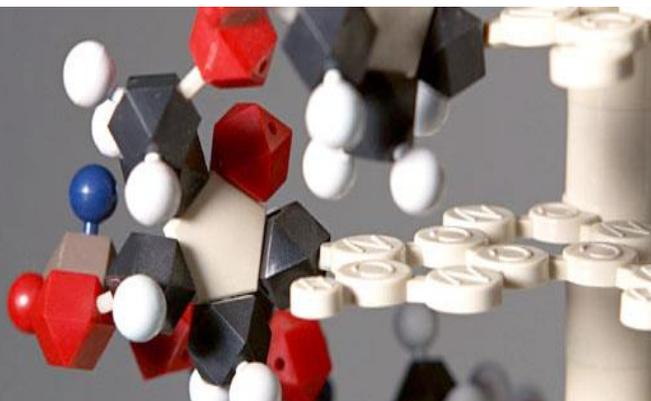


Frontier Spirit

～ 開拓者精神～



第85期 業績報告書

2021年3月1日～2022年2月28日

ご挨拶

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社は、この度第85期の累計期間の業績をとりまとめましたのでここに御報告いたします。

本年度当社の営業活動は、昨年に引き続き新型コロナウイルス蔓延によりコロナ禍以前のような活動に戻すことは出来ませんでした。
しかしながら、売上高は、リモート営業とリアル営業のハイブリッド体制が進み前年同期の比較で1億3千3百万円の増加に転じ、12億2千5百万円となりました。
また、コロナ禍以前の売上に対しても増加致しました。
要因としては、既存大手ユーザー様数社が大きく増加したことと新規取引先様も27社ご採用頂き、増加に寄与致しました。

売上総利益に関しましては、当社において企業努力により、生産時におけるコストダウンを行い、値上げ幅を押さえた形で、ユーザー様に受け入れて頂き売上総利益率の維持し、5千9百万円の増加となりました。

しかしながら、2022年度においては、続く原油高と大幅な円安、それに現行値上げを行っていない運送費など、複数回大幅な値上げが予想され、当然のことながら、当社も値上がり分の販売単価への反映をせざる得ないことから本年度も複数回にわたり、大幅な値上げが予想されます。

営業利益につきましては、一般管理費に大きな変動がなかったため、売上総利益で伸びた額がそのまま伸びた結果となり、1億2千5百万円となりました。経常利益についても大きな差がなく、1億2千4百万円となりました。

本年は、東大阪市森河内にある旧本社の事務所棟、工場棟、倉庫棟を解体し各建築物の簿価、解体費合計で8千5百万円を固定資産除却損として、特別損失に計上致しました。これにより、税引き前純利益は、3千9百万円となり税引き後の純利益は、3千1百万円となりました。

今後とも皆様のご支援を頂きながら、フロンティアスピリットで新たなる挑戦を社員一丸となって努めてまいります。

代表取締役 竹谷 裕人



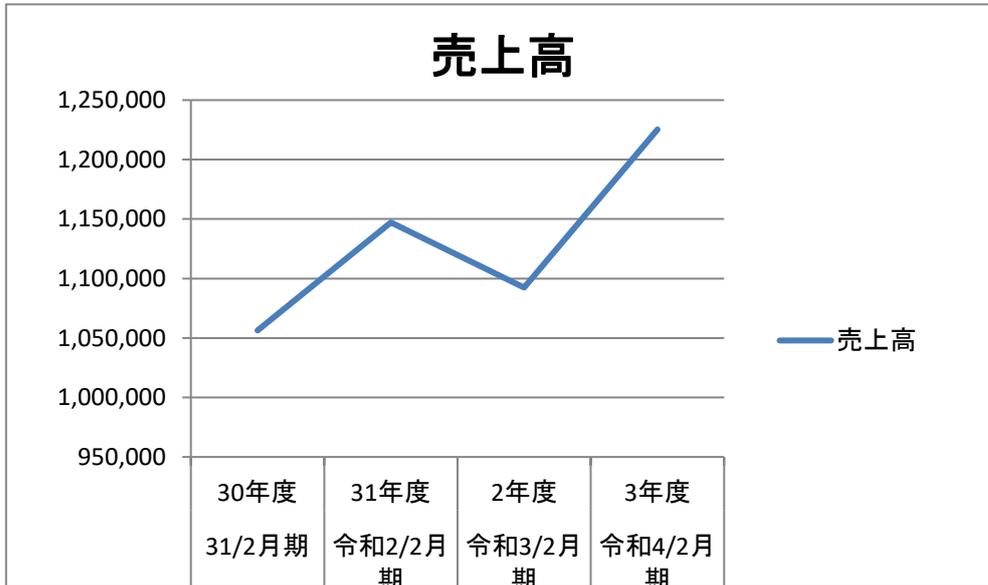
577-0056
東大阪市長堂2-3-21 布施駅前ビル
株式会社 竹屋化学研究所

第85期 業績のご報告

売上高

(単位:千円)

年/2月期	31/2月期	令和2/2月期	令和3/2月期	令和4/2月期
年度	30年度	31年度	2年度	3年度
売上高	1,056,375	1,147,085	1,092,494	1,225,321



当期純利益

(単位:千円)

年/2月期	31/2月期	令和2/2月期	令和3/2月期	令和4/2月期
年度	30年度	31年度	2年度	3年度
当期純利益(税引き後)	9,173	33,431	51,576	31,486

